

お知らせ

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

下眼瞼欠損再建手術における術後変形に関する実態調査および内容についての全例前向き調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院形成外科

【研究責任者】 三宅啓介（形成外科 助教）

【研究代表者】 安倍吉郎（徳島大学大学院医歯薬学研究部・形成外科学 准教授）

【研究の目的】

高齢や紫外線暴露により、顔面の皮膚癌は年々増加しています。特に眼周囲の癌切除に伴って生じる傷跡や変形は大きな障害であり、生活の質を低下させる一因となっています。形成外科の領域においては、下眼瞼に生じた皮膚腫瘍の切除および組織欠損に対する再建手術は通常の診療で行われていますが、術後に生じる変形に関して、その内容と原因について詳細に検討した報告はありません。

そこで、下眼瞼欠損再建手術を行った方を調査し、術後変形に影響する原因の解析を行うことで、術後に生じる変形や障害を手術前に知ることができ、治療内容に対する理解を深めることが本研究の意義および目的です。

【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2017年10月から2019年7月に愛媛大学医学部附属病院で下眼瞼の腫瘍切除や再建手術を受けた患者さん

(利用するカルテ情報) 手術内容および手術前から手術後にかけて行われた検査内容や術後の結果(写真を含む)、訴えなどの診療情報等

【共同研究について】

この研究は、中国・四国地区の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-Rに保存した電子ファイルを郵送することによって徳島大学大学院医歯薬学研究部に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

本研究では個人情報とは無関係の記号を付して管理し、その番号を使用することで、個人が特定できないように匿名化します。匿名化にあたっては対応表を作成しますが、対応表は各研究参加医療施設の研究責任者が適切に管理を行い、研究代表施設以外の外部への情報提供は行いません。収集された情報は、随時各施設の匿名化コードと調査結果を研究代表施設である徳島大学病院形成外科にメールまたは郵便にて送付しますが、その際に患者情報(氏名・ID番号)は送付しません。

<試料・情報の管理責任者> 三宅啓介(愛媛大学医学部附属病院形成外科)

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院形成外科 三宅啓介

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5350